

かげやま ひで お
陰山 英男 氏

教育講演会



8月2日、町と町教育委員会主催の教育講演会が町総合体育館で行われました。町内外の教職員や保護者など約600人が、立命館大学教授 陰山英男氏の「学力は一年で伸びる」という講演を熱心に聞き入りました。

陰山氏は「子どもの学力は、学習方法が正しくなければ適切でなければ伸びない」という視点から、「集中力」や「徹底反復練習」、「基本的な生活習慣」の重要性について話されると共に、これからの社会では国際性やコミュニケーション能力が必要であり、さまざまな体験や学力を培うことが困難を乗り越えていく力となっていくという具体的な分かりやすく語られました。

良い体験と学力づくりを通して

困難を乗り越えていく力を育てよう

講演の中から…

- 勉強とは「脳を上手に使うトレーニング」である
- 脳を使うとは考えることに集中すること。集中していない勉強は、勉強とは言わない。
- 脳のよい働きは集中という形で現れる。
- 学力は「集中」と「徹底」で伸びる。
- やる気と集中力は学習時間と場所が決まる
- 集中には、時間の使い方が重要で、時間感覚なしに集中はない（2時間半以上は効率が悪くなる）
- 短時間でできるまで徹底反復。それが自信となり、やる気につながる。
- 学力を伸ばすには…
- 書く作業を大事にする。（書くことで脳が働く）
- 間違ったテスト問題をできるまで繰り返し返す。（見直しをする）
- 忘れないための方策として、同じテストを何度も試みる。
- 百マス計算などの反復練習で、早くできる心地良さを感じる。
- 朝食を必ず取る。
- 午後10時までには就寝する。（早寝早起き）
- 効果的な手立てで生きる力に
- 教職員は、どのようなことに留意して教育活動を行えばよいか。また保護者は、家庭での子どもとの接し方などについて、多くの示唆をいただきました。
- 子どもが集中して学習できるように、効果的な手立てを工夫し、益城町の子ども達の基礎基本の学力を高め、生きる力に繋げていきたいものです。
- 問い合わせ先
町教育委員会 学校教育課
☎ 286・3111
内線311・312



熱心に話に聞き入る参加者